

キリスト教

「萌え系」の美少女イラストが話題になったフリーマーケット「いのり☆フェスティバル2011」（通称「いのフェス」）が10月22日、東京都産業貿易センター（浜松町館）で開かれた。主催はいのフェス実行委員会（代表・松谷信司氏）教会情報誌『Ministry』編集長）。来場者は約200人だった。

いのフェス開催の主旨は、主催者側資料によると、「キリスト教を取り巻くあらゆる『関係者』が教派や企業、学校の『枠組み』と立場を超えて一堂に会し、出会い、つながる

こと、普遍的な『祈り（いのり）』の精神を信徒以外にも発信しつつ、後世に継承する」というもの。

当日は、キリスト教系出版社や団体、企業



などが書籍やカレンダー、ポストカード、宗教的なアクセサリーなどのブースを出したほか、キリスト教葬儀に関するセミナー、ミニライブ、イラストレーターサイン会などもあり、賑わった。

会場の雰囲気としては、日曜学校のバザーの拡大版といったところ。「開かれた教会」を強く印象付けていた。次年度以降も、諸教派の垣根を超える試みとして、注目を集めようだ。（写真／話題のポスター）（太田宏人）